

2014年度 3年現代文 学年末試験 第3問

次の文章は、文部科学大臣が中央教育審議会に諮問した「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の一部である。この文章を読んで、現代文や古典の授業で実施したアクティブラーニング型の授業について、アクティブラーニングの意義をまとめ、長所と短所を挙げ、自分の意見を、200字以上300字以内で述べなさい。

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は、厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されます。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し、子どもたちが就くことになる職業の在り方についても、現在とは様変わりすることになるだろうと指摘されています。また、成熟社会を迎えた我が国が、個人と社会の豊かさを追求していくためには、一人一人の多様性を原動力とし、新たな価値を生み出していくことが必要となります。

我が国の子どもたちについては、判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べることについて課題が指摘されることや、自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識等が国際的に見て低いことなど、子供の自信を育み能力を引き出すことは必ずしも十分にできておらず、教育基本法の理念が十分に実現しているとは言い難い状況です。また、成熟社会において新たな価値を創造していくためには、一人一人が互いの異なる背景を尊重し、それぞれが多様な経験を重ねながら、様々な得意分野の能力を伸ばしていくことが、これまで以上に強く求められます。(中略)

そのために必要な力を子どもたちに育むためには、「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要であり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習(いわゆる「アクティブ・ラーニング」)や、そのための指導の方法等を充実させていく必要があります。こうした学習・指導方法は、知識・技能を定着させる上でも、また、子どもたちの学習意欲を高める上でも効果的であることが、これまでの実践の成果から指摘されています。

私は一人一人の新たな価値を生み出すことが必要とされている点においてこの方法は必要であると思う。特にこのクラスでは席替えを一度もしておらず、2年間一緒でもよく話す人とあまり話さない人にわかれていたが、この授業で様々な人の意見を耳にして、人の良さ悪さを良い意味で知ることができるのが長所といえる。しかし、よく話す人だらけの人が集まる班になると授業として成立しなかったため、これは短所ではないかと思われる。私の中で、国語というものは、本を読み板書を書くものだと思っていたが、高校3年になり根本的に変えられた。人と話しながら物語を追求していくのは新鮮かつたいへん理解しやすいものだったので、今後の発展に期待ができる。

アクティブラーニングの意義とは、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新によって将来子供達が就く職業が様変わりしていくことを見越して、根拠や理由を示し、自ら意見を発していくために重要なことである。長所は物事を論理的に展開し説明できるようになっていく点であり、短所は自分の具体的な体験なしでは能力を伸ばすことが難しい点である。私はこのアクティブラーニングは他者の意見を聞き、自分とは違うそのような意見があるのだと認める大きな心、自分の意見を持つために相手の話を聞く姿勢やその意見を今度は自ら聞き手に理解してもらうために必要な説明力がら養われるから、この学習方法をもっと推進していくべきだと考える。

アクティブラーニングの意義は、互いに自分の意見を根拠や理由を交えて話すことによって、自分の考えを表現する力を身につけることである。アクティブラーニングの長所として、表現力が豊かになることに加え、自分の想像もつかない意見に触れることができたり、他人と話し合う中で新たな発見があることだ。逆に短所としては自分から進んで話に参加しないと、発見をするどころか全く意味のない時間になってしまうということである。これらのことから私はアクティブラーニングを行う際には生徒の自主性、それに加えて先生からの生徒の意欲を引き出す力が必要だと思う。

アクティブラーニングとは、自分の意見やその根拠を相手に伝える力を伸ばすためのものである。この学習の長所は、生徒が教師に頼りきりになることがなく、自分たちで問題を解決していくことで、生徒の考える力を伸ばすことができるという点だ。しかし、生徒の中にも様々な生徒がいて、自分から積極的に発言できない人は、授業自体に参加できないという危険性もある。積極的に発言する力をつけるという意味でもこの学習は有効だと思うが、初めのうちは教師がそういう生徒のフォローをすることが必要になると思う。

アクティブラーニングは自分たちの将来、判断の根拠や理由を示しながら意見を述べるというための訓練であり、他者の意見を聞き、取り入れ、新たな見解を見いだすものであると考える。アクティブラーニングの長所は、学習意欲を高めることにや他者の意見を聞き、経験を重ねながら能力を伸ばすという点である。デメリットは他人に頼り切ってしまう人物が現れるということ。また、自分の意見を持たない人が出てくる点である。わたしはアクティブラーニングはこれからもしていくべきだと考える。教師の授業だけでなく、自分の意見をお互い発信し、新たな意見を取り入れることで理解が深まるからである。

個々でグループを作り、それぞれの意見を話し合うことで社会参画の意識向上、学習意欲が高まることを本来の目的とし、実際にアクティブラーニングをすることで、その目的がなされ、いいように見える一方、未来の学校という場での先生が生徒に教えることは少なくなり、それぞれのグループでも全員が主張し合えるとは限らない。自分にとってのアクティブラーニングは本来の授業では得ることができない意見を知れたり、話し合った上での内容を簡潔にまとめる力等、多くの利点があり、多少のデメリットを払ってでも、取り組む価値があるものだと考えられる。

子供たちが学びの質や深まりを重視してもらうために、課題の発見と解決に向けて主体的、協働的に学ぶ学習、これこそがアクティブラーニング型の授業である。長所としては、このような学習・指導方法は、

知識・技術技能を定着させ学習意欲を高める上で効果的であり、また班活動を行うことで自分の考えを他人に説明する能力やコミュニケーション能力も向上する。短所としては、長所の裏返しであるが、子供達が主体的でなければ授業が成立せず、班によってはうるさい班ができてしまう。自分の意見として、この方式はとても良いと思うが、話すことが苦手な子供の場合、この方式が逆に学習に対して背を向けてしまう原因となる可能性も考えられる。

一人一人が黒板に向いて授業を受ける方法には生徒の発想を閉じ込めてしまったり、他人の意見が聞きにくい問題点があった。アクティブラーニング型の授業にをすることで、これらは解決する。他人に賛同、反対することで答えを導く。また、答えがないものを自分で考える。生徒たちの人間性は成長するでしょう。しかし、質が高い授業と言うだけあって時間が必要となる。また、生徒自身の意欲こそがこの授業の要であり、生徒たちに不満があれば授業放棄も考えられる。教師の技能も必要となる。けれど、言い換えれば、この授業で生徒も教師も育つと言うことであり、黒板授業とバランスを取れば、非常に発展性のある面白い授業であると考える。

アクティブラーニングの意義をまとめてみると、一人一人が自分の意見を言えること、相手の意見を聞くことができる2つです。このアクティブラーニングの長所は、社会に出た時に必要とされるのは学力より自分の意見を言ったり相手の話を聞き相手を理解することの方が大事なので、そこを学校で伸ばせるというところ。短所は、大勢でやるので皆がやってくれるだろうと思ってさぼる人が出てきて、その人は授業をしなくなるというところ。僕の意見はアクティブラーニングは賛成です。しかし短所でも言ったように大勢だとさぼる人が出てくるので最高人数でも3~4人ぐらいがいいと思います。こういう学習もすごく大切だと思います。

現代の日本人は、自己肯定感が低く、判断の根拠だ理由を示しながら自分の考えを述べることができる力が少ないと言われていて。しかしこの力はこれからの日本には必要となってくる力であり、子供の頃からこの力を身につけることが必要です。アクティブラーニングには司会となって進める人がいない討論が進みづらいという短所がありますが、それは逆に誰でも気軽に自己の意見を発信することができる長所でもあると思います。アクティブラーニングでは高校生よりも下の小学生や中学生の授業として取り入れられれば、一人一人の多様性がより濃密なものとして現れるのではないかと考えます。

アクティブラーニングの意義は、自分の意見と他の人の意見という仕切りをなくし、意見を深め合うことでより新たな発見をし、内容を理解できると言うことです。長所は、内容を理解する上でわからないことがあった場合、他の人の意見を聞き、自分の考えももう一度考えることができることです。そして短所は、自分以外の人が考えているからと言う気の緩みから、最初に自分の力だけで理解しようという思いがなくなったりしがちになることです。私は国語を学ぶ上で、アクティブラーニング行い、より内容を理解することができ、さらに懸命に取り組んでいる周り人たちをより近くで見ることで学習意欲までも高まったと思いました。

アクティブラーニングの意義は、課題の発見と解決に向けて主体的協働的に学ぶことで、子供たちの学習意欲を高めるものである。長所は、自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識を高めることができ、様々な得意分野の能力を伸ばせることである。短所は、コミュニケーション能力が低い子供が多いとみられる昨今で、子供に負担を掛けやすく自分の個性を殺してしまうような子供でできてしまう可能性もあるということです。私はこの教育法には賛成ですが、この指導法を導入するタイミングを大事にしないといけな

くと思いました。様々な意見や答えを聞き、視野を広く持つ。なおかつコミュニケーションの能力をつけることもあります。長所は私が気づかなかった点に気づけること、これは実際にいつも授業で感じていることです。短所は誰

も話そうとしてくれないことです。コミュニケーションが苦手でも問題がわからなくても話して欲しいと思います。私の意見は入試でグループディスカッションをした。アクティブラーニングと少し違うが、授業のような感じで行った。グループディスカッションには初めてだったが、このように大学社会に出ればコミュニケーションを使い自分の意見を発見する時が来る。だからアクティブラーニングを持って行くべきだ。

これからの社会では、一人一人が尊重しあい、多様な経験を積み、様々な得意分野の能力を伸ばしていくことが求められている。そこで、そういった力を育むために、学びの質や深まりを重視し、主体的、協働的に学ぶことのできるアクティブラーニングが必要とされる。またこの学習方法では、社会適応能力だけでなく、子供たちの学習意欲を高める効果もある。しかしこの学習を行うことにあたり、最低限の適応能力が必要とされるのが難点だ。実際に授業でこの学習を体験した私は、一人では成り立たず、人とのコミュニケーションや繋がりが大切であることを改めて実感した。

アクティブラーニングの意義とは、現代日本国で問題視されている子供の理由を交えた自己主張、自己肯定感、学習意欲、社会参画意識が低いという問題を、大人として成熟する前に解決することであると思います。現在の教育は何十年も前の古い日本向けのものであり、新しい時代へ向け子供を導くことが大切と感じています。これらの長所は子供を新しい方向へ向け導くという言葉に尽きると思いますが、逆にこれにより、大きく変化するこの時代に、現在心配されている問題のみを解決しようとするれば、数年でまた新しい課題が生まれ、いたちごっこになるでしょう。私はこの課題解決を並行して大人の意識改革が必要になると思います。

アクティブラーニングは厳しい挑戦の時代を迎えるために、一人一人の多様性を原動力とし、新たな価値を生み出して行き、一人一人が互いに異なる背景を尊重し、それぞれが多様な経験を積みながら様々な得意分野の能力を伸ばしていくための教育である。この授業は協働的に学習することに学習意欲を高めることができる。しかし、これは協働学習なので一人でも非協力的だと効果は薄まる。社会で活躍するには協働で働くことが多いと思うのでアクティブラーニングはこれからの時代に役立つと思う。

何年後からの社会は、グローバル化して今の社会とは違うので、そのためにも子供の自信や能力を引き出す必要がある。そのためには、アクティブラーニングという学習法があり、知識や技能を定着して学習意欲も上がるという実践の成果もある。この学習方法は、子供たちの自主性や知識や技能が定着するが、恥ずかしがり屋や話すことが苦手な人たちが会話に参加できなくて、置いて行かれることがあるかもしれない。私はこの学習方法で授業してみて、会話ができずにわからなくなったときもあったし、班で違っ間違っ理解したときもあったが、自分は置いて行かれないようにと努力したし、間違ったおかげで方法を得られたりしたので私は良いと思いました。

これからの社会では、一人一人の多様性を原動力として、新たな価値を生み出してことが必要とされる。しかし今の日本の子供たちは国際的に見て、判断の根拠や理由を示しつつ、自分の考えを述べることや、自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識等が低いとされている。そこで、どのように学ぶかと言うことが重要視されるようになり、アクティブラーニングでは受動的な学びから能動的な学びへと変えていくことが期待される。しかし、ここにより発言の得意不得意があるので、一部の人間の意見しか引き出すことができないかもしれない。だが、繰り返し経験を重ねることによって、その問題を解決し前向きな効果が期待できると思う。

アクティブラーニングとは成熟社会を迎えた国が、個人と社会の豊かさを追求していくための学びの一つである。これは大きく2つに分けられる。コミュニケーション能力が高く、発表がスムーズにできる者と、その逆に人前に立ちたがらずコソコソする者である。それはつまり、成長できる者がいる中で、できない

者も現れてしまうこと。その間には、大きな壁がある程に距離が開いてしまう。実際に体験して、自分自身が一方的に話している状態になっていた。よって、人それぞれ得意分野によってグループを組むと良い。子供の自信を育み能力を引き出すことは必ずしも十分できておらず、教育を本来の理念が十分に実現しているとは言いがたい状況で、一人一人が互いの異なる背景を尊重し、それぞれが多様な経験を重ねながら、様々な得意分野の能力を伸ばしていくためにアクティブラーニングが必要である。アクティブラーニングによって主体的協働的に学ぶ学習能力を身につけることができるが、その方法等が今現在まだ充実していないことも大きな問題である。自分は今回のアクティブラーニングによって主体的にはもちろんコミュニケーション能力も向上があったと思う。

- ⑮子供の将来は国の将来、そして常に変化し続ける未来において一人一人の多様性を新しい価値を生み出すことのできる力は重要です。つまり自分で課題の発見と解決に向けて主体的協働的に学ぶアクティブラーニングや、その指導方法の充実が必要です。自分たちで課題の発見や解決と言うことは、自分で考える力や他者と意見を交換するコミュニケーション能力を育ててくれますが、人と人との摩擦で関係が悪化し傷ついてしまうこともあると思います。そこで自分は中高といった自己の確立していく年代ではなく、小学生ぐらいの他者との壁が薄い時からアクティブラーニングをすればいいと思います。
- ⑯アクティブラーニングの意義は、自分たちで課題を発見し展開し学習意欲を高めます。長所は、一人わからないところがあっても、他人がわかっていたら助け合えるところです。短所は、発言する人がいないく、誰もリーダーシップをとらないチームがぐちゃぐちゃになってしまうところだと思います。現代文や古典の時間にアクティブラーニングをして、自分はわからないところがあって聞くとすぐに答えてくれたり、授業であまり発言できない人たちもアクティブラーニングになったら気軽に質問の回答もできるのでとても良い学習方法だなと思います。
- ⑰アクティブラーニングとは、最近の子供たちにかけている主体性や自己肯定感、学習意欲等を高めるための主体的、協働的学習である。前に挙げたように主体性等を高めることができるが、子供の性格によって自分の意見が否定されたりすることがあるので逆に自信の喪失に繋がる可能性がある。よってアクティブラーニングは子供がある程度精神的に成長してから行うほうが良いと考えられる。また、主体的に学ばせるために、使用する教材も子供達から見て興味の惹かれる内容を選ぶ必要があるだろう。最近では、選挙が行われても投票に行かない人が増えている。そういう人を減らすためにも主体性を育てるアクティブラーニングが私には賛成である。
- ⑱社会を豊かにしていくためには、一人一人の多様性を原動力とし、新たな価値を生み出すことが必要となります。そのためにも必要な力は学びの質や深まりを重視することであり、アクティブラーニングではそれを養うことができる。子供たちの学習方法意欲を高める効果がある反面、話の輪に入りにくい人等がいれば逆効果でもある。自分の意見として、アクティブラーニングに一長一短はあるが、協働して自分の意見を話し合える場として学ぶことができる子供たちに必要であると思う。